

# 令和2年度日本解剖学会奨励賞応募者公募のお知らせ

## 【日本解剖学会奨励賞 募集要項】

### 1. 応募資格と審査の対象

応募の資格を持つ者は、下記の①、②をともに満たすものとする

①申請年の4月1日現在で満39歳未満

**※但し、出産や育児のため研究を離れていた期間は年齢制限に延長を認める。該当期間がある場合、年齢制限該当の有無に関わらず、その期間を申請書中に記載すること。**

②申請年の4月1日現在で原則として3年以上の正会員歴を持つ日本解剖学会正会員

本賞は、指導を受けつつも自らの精進と努力によって、研究を着実に発展させており、業績の内容と研究方針・態度等が日本解剖学会奨励賞規約に基づいて、“将来の発展を期待し得る”と認められた正会員に対して与えられるものである。この精神に従い、原則的には単一の論文ではなく、数年にわたる研究業績と日本解剖学会での活動実績および今後の研究の発展性が審査対象となる。但し、研究が完結していることを絶対要件とはしない。

### 2. 提出書類について

i. 申請書（学会ホームページよりダウンロード可能です）

日本解剖学会所定の用紙に必要事項を記入したもの。作成に当たっては次の点に注意する。

- ・申請課題は、数年にわたる研究業績を包括するものが望ましい。また、研究歴については大学卒業時（または大卒でない場合は最終学歴）から西暦で記載する。
- ・業績目録は、最近のものから通し番号を付して全員の著者名を記入し、未受理の論文（submitted）は加えない。印刷中（in press）の論文を加える場合は、掲載証明を添付する。
- ・日本解剖学会における活動歴は、全国学術集会、支部学術集会での発表を最近のものから記入する。

ii. 研究内容

研究内容をA4用紙に2,000字程度にまとめる。（1）過去の研究経過（申請課題に関する研究内容を中心にして、これまでの研究経過について、業績目録に付した通し番号を用いて、研究内容と論文の関係を明示する）と（2）今後の研究の展開の2つに分けて記載する。（1）と（2）のそれぞれの項目についての字数制限はないが、全体で2,000字程度とし、図表（カラー可）は2つまで掲載可とする。また、申請者が提出の3編以内の主要論文で果たした役割を論文ごとに100-200字程度、それぞれまとめてA4用紙1枚に記載するものとする。研究内容・主要論文で果たした役割、ともに14部添付すること。

iii. 論文別刷

申請課題に関係する主要論文3編以内の別刷14部（別刷が電子媒体の場合、図・写真が明瞭なコピー14部でも可）を添付する。なお、印刷中の論文を主要論文とする場合は、投稿原稿あるいは図・写真が明瞭な投稿原稿のコピー14部を添付する。

iv. 共著者の同意書

主要論文が筆頭著者ではない場合、日本解剖学会所定の共著者全員の同意書（学会ホームページよりダウンロード可能）を提出する。但し、申請者が筆頭著者である論文については、同意書の添付は必要としない。**なお、過去に本賞応募に使用された主要論文を共筆頭著者として応募することは妨げないが、申請書に必ずその旨を記載すること。**

※応募書類は特別の事情のない限り返却しない。

※日本解剖学会の入会日が曖昧な場合は必ず学会事務局で確認すること

### 3. 締切期日 令和2年9月30日（水）必着

**※書類不備があった場合、募集要項で定められた提出期限内であれば差替を認める。**

### 4. 審査 審査は賞・研究費推薦候補者選考委員会にて行なう。

### 5. 選考委員

下田 浩（弘前大・医／委員長）、井関祥子（東京医歯大・歯）、榎本秀樹（神戸大・医）、大野伸彦（自治医大）、大保和之（横浜市大・医）、岡部正隆（東京慈恵医大）、柴田昌宏（鹿児島大・医）、竹林浩秀（新潟大・医）、板東良雄（秋田大・医）、深澤有吾（福井大・医）、松田正司（愛媛大・医）、吉田 篤（大阪大・歯）

### 6. 申請書の請求及び提出先

〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込T Sビル

一般財団法人口腔保健協会内 一般社団法人日本解剖学会

TEL. 03-3947-8891 FAX. 03-3947-8341 e-mail. gakkai24@kokuhoken.or.jp

**※1 応募書類1枚目はPDF化の上で別途、学会事務局あて電子メールで提出すること。**

**※2 簡易書留（レターパック可）等、配達記録が残る方法（メール便不可）で送付すること。**